

安全・安心なまちづくり

3月11日に発生した東日本大震災における地震と津波、さらには福島第一原子力発電所の事故という未曾有の被害は、私たちの想像をはるかに超えたものとなっています。

今改めて私たちの普段の生き方や考え方を見直す契機とするため、「安全・安心なまちづくり」を統一テーマとして市民公開講座を企画いたしました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

第1回 平成23年11月7日（月）

『『までい』なまちづくりの力～福島県飯舘村に学ぶ～』

講師 千葉悦子氏（福島大学行政政策学類 教授）

飯舘村は、原発事故後、全域が「計画的避難区域」に指定され、村ぐるみで村外に避難しています。これまでの人と自然を大切に「までい（丁寧に、手間ひまを惜しまないの意味）」な地域づくりとこれからの飯舘村についてお話ししていただきます。

第2回 平成23年11月30日（水）

「森(もり)に生きて」

※ 森(もり)は徳村彰氏作成の表意文字

講師 徳村彰・杜紀子氏（「森の子どもの村」主宰者）

横浜市から滝上町に夫婦で移住し、「森の子どもの村」をひらきました。

自然体験する家族を受け入れ、電気もガスもない「熊出の森」に生き始めた哲学と大震災後の日本の状況をどう見ているのか、お話ししていただきます。

第3回 平成23年12月5日（月）

「持続可能なまちづくりをめざして

～自然とどう向き合うか～』

講師 小野有五氏（北海道大学大学院 教授）

地球環境を専門とする見地から、自然とどう向き合っていけばいいのか、また、原発推進に反対してきたこれまでの経緯や今回の事故をどう見ているか触れていただきます。

「安全・安心なまちづくり」の指針となり、公開講座のまとめとする内容です。

時間：18:30～20:00

会場：名寄市立大学 新館2階 121教室

※ どなたでも受講できます。（受講無料）

当日会場にお越しください。